

師改心服忌令

一父母

忌五十日

服十三月

一養父母

忌三十日

服百五十日

国月とかがどく

遺跡相續或ハ分地配筋ホカ
子ら実父母のどく同様少く
毛髪短少くし本の方の親

姉に服忌の如く相親に服忌
又は親の方れ父母の五十日十三
月乃服忌可受之伯叔父姑の親
減の服忌受之兄弟姉妹を
お守に未減の服忌受之は即
實方の方の親類相親に服忌無
之也親類お續せし式は分地承
也

せしは書ら子に同姓少てしは母姓に
ても書ら父母の式之通服忌て
受之書ら兄弟姉妹の相親に未減
の服忌受之は即書ら方の親類
相親に服忌無之實方の方の親類
も受之式之通お守に服忌受之

○嫡母

五十日

服三十日

又お室の内より又又お公の
 後少くも他處お尋ひしそお公
 何の妻の子にて又服忌離別するに
 おおのくい妻乃子不にて又服忌
 ○継父 忌廿日 服三十日
 他よりめより同居せざれど無
 服忌

- 継母 忌十日 服三十日
- 又死去の好侍え嫁しと死去せ
- また不にて又服忌
- 離別之母 忌廿日 服百又十日
- 夫 忌三十日 服十三日
- 妻 忌二十日 服九十日
- 嫁み 忌二十日 服九十日

女子の冠飾よせきくも未子
に減に

○ 未子 忌十日 服三十日

○ 喪子 忌十日 服三十日

家督相定ふるべきは婦子に同し
其外の親ふに定式の服忌に等し
実方の父母の未子に准るべし

○ 夫之父母 忌三十日 服百五十日

○ 継父母 忌三十日 服百五十日

母方 忌三十日 服九十日

○ 曾祖父母 忌二十日 服九十日

母方 忌二十日 服九十日

○ 高祖父母 忌十日 服三十日

母方 忌十日 服三十日

○伯叔父母 ちちうち 忌二十日 服九十日

母やこい 忌十日 服三十日

○兄弟姉妹 忌二十日 服九十日

別後たりといひて忌二十日 服九十日

別か

○姪父兄弟姉妹 忌十日 服卅日

○甥孫 忌十日 服卅日

如子の心た初よはせれて忌未終り

准正父死去の後祖父の家督の家

とらに祀又母とらとつとらとら

又母のおとく服忌てとらとら祀又母

の方らとも婦子に准す人一尊孫

又い玄孫たりといひて忌同日の外

の親類い定式し通相等に服忌

無門後

○末孫

忌三日

服七日

娘むすめの孫まご

忌三日

服七日

○曾孫ひまご玄孫まご

忌三日

服七日

娘むすめの孫まご玄孫まごとて服

忌三日

○後父兄うしろちち姉妹あねいもうと

忌三日

服七日

父の姉妹あねいもうと中子なかつこ孫母まごはは加くわこも娘

忌日前いまひのち

○甥おひい姪おひめ

忌三日

服七日

姉妹あねいもうとの子こと服忌日前いまひのち

○七歳さいはち末備まへびの小兒こども無服むふく但たゞ子こ死し

去きのし時とき遠とほ慮り三さん日にち其その外ほか同姓どうせいの親おや

親おやのし遠とほ慮り一いち日にち尚なほ忌いたりとつつとと

同前死去の日数違ふと返す不及
遠慮

○喪忌之事

遠慮ふおみく死去の服と終く
知れぬなりといふは父母の喪付る日
より忌五十日後十三月外の親
類の喪付る日より服忌終る日数

てより一より日数違ふ告るも
一月遠慮服あけいさへ同前

○重なる服忌之事

父の服忌いさへ不ぬらち母れ扱忌
あるは母も死去の日より五十日
十三月の服忌ていさへ不及二年
服也おりの服忌の内より三扱忌

ありて其日救れぬと不及張忌
より日救れぬと其日救れぬと
救可きとくつこ張忌の内言死
張忌有し一歩付家内よりおりた
張忌とて言ふこと

○釋けいれのり

○聲釋さんのけいれ

又七日

母三十五日

を困より若くは七日ななひ過ゆり

ふ及釋

○血荒ちのあらい

又七日

母十日

○流ながれ老らう

又五日

母十日

○死穢しち

一月

母三十五日

死人をさし一日の釋し但し不承
るべき日と釋せし

○ゆめ 継合 行木次才 忌中の者の
 宅或いん 靈祇或いん 自害或為死の志
 の取と 糸いと 糸いと 糸いと

追加

一 父死去の後母他へ嫁し死
 去の時に父式いん の服忌いん
 一 養父死去後母何方より死

去りとも他人へ嫁しいん 家督いん 継
 の志いん 母へ服忌いん
 一 母父死去乃母養母他へ嫁し
 死去いん 母へ服忌いん
 一 喪方之母先達る死去一夜もいん
 而いん 母へ服忌いん 准し其
 親類之喪服忌いん

一 嫡母死去以後妾^{ウチ}服^{ウチ}又^{ウチ}出生^{ウチ}係^{ウチ}子
継母^{ウチ}親^{ウチ}親^{ウチ}係^{ウチ}継母の服忌あり
受^{ウチ}受^{ウチ}

一 父と縁とれい母はふと^{ウチ}い他^{ウチ}え
嫁^{ウチ}と^{ウチ}父死去以後一取^{ウチ}よ^{ウチ}死^{ウチ}い
こも^{ウチ}親^{ウチ}別^{ウチ}の母^{ウチ}も^{ウチ}服忌^{ウチ}受^{ウチ}受^{ウチ}
一 親^{ウチ}別^{ウチ}の母^{ウチ}に^{ウチ}親^{ウチ}類^{ウチ}い^{ウチ}不^{ウチ}所^{ウチ}半^{ウチ}減^{ウチ}也

服忌受^{ウチ}

一 親^{ウチ}別^{ウチ}の母^{ウチ}に^{ウチ}半^{ウチ}減^{ウチ}也^{ウチ}服忌^{ウチ}受^{ウチ}受^{ウチ}
一 継^{ウチ}父^{ウチ}母^{ウチ}の^{ウチ}親^{ウチ}類^{ウチ}也^{ウチ}服忌^{ウチ}受^{ウチ}受^{ウチ}
一 父^{ウチ}母^{ウチ}と^{ウチ}繼^{ウチ}母^{ウチ}の^{ウチ}伯^{ウチ}叔^{ウチ}父^{ウチ}姑^{ウチ}い^{ウチ}半^{ウチ}
減^{ウチ}の^{ウチ}服^{ウチ}忌^{ウチ}あり^{ウチ}受^{ウチ}受^{ウチ}
一 異^{ウチ}父^{ウチ}兄^{ウチ}才^{ウチ}姉^{ウチ}妹^{ウチ}の^{ウチ}親^{ウチ}類^{ウチ}い^{ウチ}相^{ウチ}半^{ウチ}減^{ウチ}
半^{ウチ}減^{ウチ}の^{ウチ}服^{ウチ}忌^{ウチ}可^{ウチ}受^{ウチ}受^{ウチ}

一 母方の親類父不通いごとく服忌
無別儀也母方の親類も同前
なり

一 嫡子相果いご後次男ありくと
末子にくと家督と定む時
其服忌嫡子にて准次男ありくと
家督と定むごとくなり

准忌

一 義母の子を服忌先別所
嫡子たりとありと末子に可
准以外の親類同姓の家小の
てい定式の服忌と定む
一 家財を以て思作られたる子の分
配尚と同あり

一他家之送^{ゆり}跡^{せき}相^あ続^つい^ひ者^{もの}の子^こま^まと
実^ま父^{ちち}乃^{すなは}分^{わか}れ^ると^も又^{また}い^はる^る者^{もの}實^ま方^{かた}
實^ま方^{かた}之^の親^{おや}類^{るい}多^{おほ}敷^し又^{また}に^に被^かせ^る
た^り定^さ式^{しき}之^の通^と服^{ふく}も^も受^うけ^る

一他家の養子^{やしやう}より者^{もの}實^ま方^{かた}之^の婦^め
母^{はは}あり^しも^も繼^{ついで}母^{はは}あり^しも^も其^{その}母^{はは}を^を
継^{ついで}母^{はは}とい^いは^はる^る者^{もの}實^ま方^{かた}之^の服^{ふく}忌^い
て^て又^{また}之^の他^{ほか}者^{もの}育^{そだ}せ^る者^{もの}い^はる^る者^{もの}服^{ふく}忌^い
て^て又^{また}之^の他^{ほか}者^{もの}育^{そだ}せ^る者^{もの}い^はる^る者^{もの}服^{ふく}忌^い

て又^{また}之^の他^{ほか}者^{もの}育^{そだ}せ^る者^{もの}い^はる^る者^{もの}服^{ふく}忌^い
て^て又^{また}之^の他^{ほか}者^{もの}育^{そだ}せ^る者^{もの}い^はる^る者^{もの}服^{ふく}忌^い

一女子婚儀以前より其^{その}母^{はは}を^を或^{ある}い^はる^る者^{もの}
入^い嫁^{よめ}と^と取^と家^か督^{とく}相^あ続^つい^ひ時^{とき}者^{もの}
其^{その}方^{かた}之^の親^{おや}類^{るい}多^{おほ}敷^し又^{また}に^に被^かせ^る
相^あ互^ひに^に服^{ふく}忌^いて^て受^うけ^る婚^{こん}儀^ぎに^に付^け
其^{その}母^{はは}に^に成^なる^る者^{もの}實^ま方^{かた}の^の親^{おや}

類不殘相平に定式に服忌可
受之出方に親類の出父母は
定式に服忌可受に伯叔父姑
兄弟姉妹に半減に服忌可受
之以外出方に親類服忌可受
出父母伯叔父姑兄弟姉妹に
方より半減に服忌可なり

一 婚儀不相調死去儀も前方
祝儀取多し儀も相平に服
忌可なり

一 七歳未満の小児も親類相果
儀節に定式服忌の年月日数
相應不遠也すし

一 父の妻服忌可なり但父妻に準

一 父母に死したる継母の服忌は三年
一 妾の服忌は三年但子出生小おわ
てち遠慮三日

一 養子ありし者其方の親類他
家えやしありし者其方の服忌
せしむ

一 同姓よりても異姓よりても一人を根

の法どき有るは其方の服忌
せしむ

一 縁類の名氏を授けし斗はく
分地配當すしは其本姓の方
の親類定式し通服忌せしむ
一 父母妻子兄弟并家来に服忌
せしむし其身に服忌せしむ

候者新水に才様さき

一 死様の事 一月家の内死人有
く時の産変あくし長屋よりを
同変居のうらに居合ゆり一日
の様に受く変居は福一の様
すく長屋のうら同変居の内不
み位ゆきも不存ト一の当目の様

すく二階乃上りまて入口変居
の外不有くゆを様すく家主
死去ゆてと死様の後其別を
産変のうら家を死地と死人有
く時の其持有り取の地斗あ
目様に家乃うらにふ及申と場
の卯の様にまき死後其席之祭

つたたさし懸有しゆて踏合の
禊あり附り一日の禊も苗夜
九つ時よりぬる夜よ入ゆま九
つと死よりすよゆ二日の合
にありゆ

一 踏合

水決也

居る浦の内死人有しゆ一夏の

禊あり他不知ゆ一の苗目も禊を
一 家主より方に死人有しゆ其別棟
にゆ志信宅より老にハ禊を信
宅より老方に死人有しゆも別棟
より老家主に禊を他同棟
にゆく家主信宅の老もハ一日
と禊あり

一 忌中し或或の死人に席或或
禊或自害或病死し老の毫へ
糸くわく踏合の禊し
一 形體有るく生るまゝはてわ生
流形体なきくをの幾月あゝとて
血荒

一 半減し月数ハ三十日し忌ハ十

八月より一箇ハ准し他三日の忌
は二月より七月の忌ハ四日し

以上

△
增益神祇服紀令

神祇道之神事者一朝廷法令也
君臣遵之諸社例之神事者一
社之新式也故其社人守之

服暇

①父母服一年但十月暇五十日

云若遠國三逝去年月ヲ繼續

俗

來キタルヲ聞キ付ツケル日ヨリ五ニ飯ツヲ始ハシメテ一ニ週シト
三月著キル服也此義二親ニ限ルナリ又
雖レ不レ孝子可レ著服ナリ
ハ服ノカロキト
付ツケル内ニ有ル之一二三四五

一ニ養父母服百五十日一暇三十日
遺跡相續スレバ本親ノ如ク服ヲ著
也此時ハ本姓二親ノ服ハ受サズナリ

但鵬捨其身ノ意次第ナリ

二ニ嫡母我母ヨリ前ノ母嫡子ノ母繼

母我母ヨリ後ノ父妻服三十日一暇十日

三ニ夫服一年肝三ニ暇三十日離別以
後服ナシ

二ニ妻服九十日一暇二十日妾ハ服
ナシ一忌二十日

② 舅我夫之父母服九十日 暇二十日

① 嫡子服九十日 暇二十日 但嫡

子トハ男子ノ第一云女子ハ嫡ニテモ

未子ニ准ズルナリ

① 未子服三十日 暇十日

① 養子ハ未子ニ准ズ又實子ノ

兄弟ニハ服ナシ又乳母子ニモ服ナズ

② 祖父母服百五十日 暇三十日

② 伯父我父叔父我父 服九十日

服二十日

② 姑父姊妹 服服同前又伯叔

婦服ナシ

② 兄弟姊妹服九十日 暇二十日

甥カハリノ兄弟服服同前ナリ又兄

弟妻妾服ナレ

③ 異兄弟姉妹服三十日 暇十日

③ 曾祖父母服九十日 暇二十日

④ 高祖父母服三十日 暇十日

④ 從祖父姑服ナレ ④ 從祖姑服ナレ

④ 從祖伯叔父母服ナレ

② 嫡孫服三十日 或九十日 暇十日 男

ノ第一ヲ云フ

② 未孫服七日 暇三日 女ハ姉ニモ

未ノ孫トス

④ 兄弟姉妹孫服ナレ

④ 曾孫服ナレ ⑤ 玄孫服ナレ

⑤ 外孫服ナレ ④ 從父兄弟服七日

暇三日 但姑ノ子ハ服ナレ

④ 再從父服ナレ

六

七

④從父兄弟ノ子服ナレ

③甥姪服七日服三日但姉妹ノ

子服ナレ
⑤聳服ナレ

②子婦服ナレ
④孫ノヨメノ父服ナレ

③姪婦服ナレ
③夫祖父母服ナレ

③同居夫ノ前ノ妻妾服ナレ

③夫甥姪服ナレ
③夫伯叔姑服ナレ

⑤妻妾ノ父母服ナレ

④妻妾ノ前ノ夫ノ子服ナレ

③繼父ノ服ハ同居ト恩惠ヲ蒙

バ服三十日忌十日カスバ服ナレ

母方

④外祖父母服九十日服二十日

④舅姨服三十日服十日自余ノ

親ルイハ服ナレ

⑤母方ノ叔姨ノ子服ナレ

⑤孩七歳マデムニ親服ヲ不著上

ハ皆親類無服ナリ八歳ヨリハソ

レクノ服アルベシ

⑤君天子ヲ云服日見トコロナレ服

一年

⑤本主服君ト同

⑤師服百五十日或忌三日

⑤僧尼服ノ法見ズ

雜穢物忌

○女形水穢七日ナリ八日メヨリ神

事ノ人同座同火不苦ナリ本人

神社へ參詣ハ十一日メヨリ懺ナレ

但七日スギテ月水アラバ其日一

日憚ルベシ

○懷妊忌ハ夫モ古ハ五ヶ月カ解メ

ヨリ神事ニ憚レ也今ハ誕生ノ

當月ヲ憚ル也女ハ五ヶ月ヨリ

憚ナリ五ヶ月ニ帶スフビ作法也

○産穢三十日也但七ヶ月以後

ハハび丙ノ穢ナシ八日ヨリ出入

同座同火ノ人二夜三日居イ隔テ

太神宮以下諸社參詣不苦也又

胞衣ニヲアラフ者ハ七十五日胞衣

ヲ納ル者七日アラハ血カチルモノ

三十日 ○流産ノ穢三ヶ月

マテ六月水ニシ准ズ四五ヶ月ニ至

テ形在之全ク死穢ニシ准ズ又ヲ

口レ子^ゴ三ヶ月マデ^テ七月四ヶ月
以後ハ三十日ノ穢ナリ

○死穢三十日甲乙丙三轉忌之^ヲ
甲ト死人ノ在所ナリ^ル乙ト火葬處^ニ
へ往來スル人二十日ノ穢也^ト丙ト火
乙處へ往來スル人十日ノ穢也^ト其
以三轉ノ穢ナリ又丙穢ノ人ト

參會セハ當日バカリケガルニ夜三日
隔テ神社參詣スベシ又死人ヲ知
テ其家行ハ三十日ノケガレナリ

○五體不具穢七日甲乙丙三轉
死穢ニ同ジ假令五體不具ト人
ノ頭手足ノ類ヲ云フ犬馬ノ分
有之バ全體ノ穢三十日ナリ三

轉穢アリ身腹三五臟ヲソナフル故也又死灰死肉ハ五體不具ニ准ズ死人冥ヲクラヘバ忌七日
○六畜生死穢牛馬羊豕犬雞是ヲ六畜ト云鹿猿狐等准之産穢
三日死穢五日申しニ轉忌之不及
三轉此内雞ハ穢ナシ

○或於家内カレラ骨等有之棄ルバ家主穢ス捨ル人當日憚之付六畜ノ白骨ケガレナシ
○家向河邊死人流來テ門前ニトゴム突流トルニ其突ナカス人三十日憚之
○神社參詣時河ニ死人流ル其下ヲタレバ不穢其

上ヲワタレバ穢ルナリ

○焼亡七日或三日乙丙ノ忌ナ
レ失火穢所ニラル者只一身其ケ
ガレアルベシ

食穢

○魚ハ大社へ憚ナシ宮寺へ當
日憚之○鳥ハ大社へ憚ナシ宮

寺ハ僧侶ノ祭社也吾國ノ舊俗合ニ
アラガルカ佛法僧度ハ欽明天皇ノ
比ニハジマル本式參詣ニ必魚ヲ可
用○鹿猿狐猪犬食穢七十日合
火五十日又合火三十日但猪鹿
忌伊勢ニテハ各別左ニ記○鹿肉
ノ入タル藥三七日○鹿茸ノ入タル

藥三七日○鹿角ノ入タル藥七日
○鹿脯ヲ食穢七十日○牛馬ノ
肉食百五十日乙七十日丙五十
日○羚羊狼兔狸ハ五日忌之食
了又五日スキテ潔齋シテ神社ハ
參詣スベシ合火ハ苦カラズ但伊勢
ニテ各別ナリ左ニ記ス

○五辛ハ大蒜茗葱薤葱蒜與菘蘭
葱大社ハ不忌之官寺ニ忌之
三日或二十四時又八異臭ノ朱
限只前一日忌トモアリ五辛ヲ食
ノ時僧侶ノタニ制禁ノ法ヲ置ト
一人モ俗人ニシテハ疎見所忌懼之
又佛寺ノヨリキハ令禁之神社ニ不

忌之五辛本野菜ナリ可忌憚ノ

物ニアラス

○豆腐トクナク餅ヒナ上ノ鹽シホ 酒サケ味アジ噌ソウナク

納豆ナツド 酢ス 蒸物モク 夕タバコ 此類コノ

火ノ物ニアラス

問答

問云爪ヲ切神社參詣憚イカレヤ否イヤ



答云不憚之但血ヲ出ス事アリバ

憚ルベシ或說ニ爪ヲ切ヒゲカニヲソリ

神事參詣當日憚之トナリ

○問灸治ノ穢如何 答云灸三

ヶ所ニテハ大社宮寺其不憚之四

ヶ所ニ及ハ憚之或說灸忌三日

又伊勢ノ法各別

○問隣家人死スル時地ケガレ有
否イキ 答無之ナシ 辨棟ニテ出入ノ
門ナキ時ハ不穢ス以之レシルベキ也
○問穢中ニ法樂連歌可憚ナヤ
答云不可然云云大社官寺同
○問産穢服紀令ニ見タル如ク七
十日ノ間ハ甲乙丙三轉ノ穢ナリ

七日ノ内ニ丙穢人ニサシ入
其穢アリヤ 答丙穢サシ入人ス
丁穢トモ云ベケドモ丁穢ト名目ナラ
出事ナシタ只タ參會ノ當日ガリ穢
又翌日ヨリハケガズ甲乙ニ交ハ七日
ノ内ハ産穢ト同クケガルベシ七日
以後三十日ノ間ハ甲ニ交ハ二夜

三日居隔テ參社スベシ七日以後
ハ乙丙ノ穢ナシ

△
○問父母ノ重服ヲ他國ヨリ告
來レハタトヒ五年十年後タリトモ其
告ヲウル日ヨリ始テ期年ノ服ヲ
受事服紀令ニ見タリ期年トモ分
月ナリ今年ノ死月ヨリ明年ノ死月

マデヲ云死日ハ上旬ニシテモ又中旬
ニテモトモ其一月ハ忌ナリ諭ハ今年
二月死月トスル明年ノ二月中ハ忌也死
日ニカケテ其一月中忌也此分
ヤ否 答云此分也 又問或説
ニ重服ハ五十日ノ内ニ吾來レ其間
日ヨリ相繼テ五十日ニ滿ル日マデ忌

之ト云人アリ^{タテ}諭ハ死日ヨリ三十日^{タテ}目
四十日^{ツゲキ}メニ告來^{タテ}ハ其殘日^{ノミ}ヲ十日
モ二十日モ忌テ^ヒ聞日ヨリ^ヒキヤウ^ト五
十日^{シメ}ヲ始^トズト云リ如何^カ 答云大
ナル誤也^{アヘ}聞付日ヨリ^ヒ五旬^シヲ始^トズ^ル
説也^シ是重服^{チウフク}ニ限^カル事也^シ輕服^{ケイフク}ハ
暇ノ内ニ^ヒ告來^{タテ}ハ忌^ヒ繼也^シタト^ハ二十



日ノ暇タル^ニ十四五日^メニ告來^{タテ}ズ
殘^シリ五六日^ヲ忌^ヒテ聞^キヨリ二十日^ヲス
忌^ヒガルナリ^シ是輕服^ニ限^ルナリ
○問大社^ヘ參詣^ノ時^ハ魚^ヲ食^ス
其下^ノ向^ノ道^ニ宮寺^ヘ參詣^ハタト^ヒ魚
ヲ食^スモ不可^カ憚^ルカ 答大社^ニモカ
ル故^ニ不憚^ル凡^ソ大社^ヘマイ^リサケ^ニ宮

寺へ参事不可然大社ヲ次ニスルニ相
似タレバ也然ハ大社参詣ノ人魚鳥
ヲ食テ先宮寺へ参事無益ナリカ介
サマニハ不苦也

○問父母ノ形忌ノ日只参社可憚ヤ
答云月忌ハ大社宮寺トモニ毎月ノ
忌日不憚タマ父母ノ死月ノ忌日ハ

カリ當日憚ベシ

○問鳥食人合火宮寺参詣憚ヤ
答憚ナシ

○問喪ノ吊ヒ疾ヲ問ニ忌アリヤ 答
大社宮寺トモニ當日憚也 又問
喪ヲ吊ヒ疾ヲ問人参會如何 答
穢ナレ但其身喪家ハ穢アルベレ喪ヲ

吊六三轉ノ穢ナケレドモ死穢ニ混
ズ故ニ三轉ノ穢アルベキヤ疾ヲ問
ハ内ニ入ドモ三轉ノ穢ナレ當日ノ憚
ナリ付到山作所三七日法事ニ
アフ當日忌之

○問イロヲ著テ喪所へ送ス人又火
屋へ入人三十日穢也葬所ニ入テ死

穢ヲ受ル故ナリ又親類ハ服暇ノ限
ヲ以テ定ム此分カ 答云然也
但葬禮場ニ出ル人二夜三日又葬
ヲアラタム人三十日忌ナリ

○問手負タ人其身穢スルヤ 答
凡神事ニ血ヲ忌血ノ出ル間ハ忌
ム 又問手負ヲ吊ハ穢ヤ 答當

日憚ル疾ヲ問ト同但疵ノ穢レ淺深
ニヨツテ決シガタシ或七旬五旬三旬
七日三日忌之又身ヨリ血出ル少
ノ事ハ大社ヘハ三日忌

○問疫癘梅瘡ハ如何 答伊勢
宮六七十日忌餘ノ社ヘハ十日
忌ナリ ○問小瘡膿出ル如

何 答大社ヘハ三日忌之又伊勢
參宮ハ灸三ニテモ瘡ニテモ膿出ル
間ハ不許 ○問公界ノ井ヲ
穢所ヨリ汲事了ルベシ其井ヲ汲者
ハ穢スベシヤ 答井ヅクナキハ穢ナレ
井筒アレバケガルナリ
○問墓ハ參ニ穢アリヤ 答云當日

ヲ忌之也但大社ハ三月忌ベシ

○問神事ニ法事ス當日ヲ憚ル

雖然若祈禱ナドシ法事タラバ神事

ニ不可憚カ 答凡神事ニ佛法

ヲ忌リ祈禱タリト云トモ可憚之

但宮寺ハクルレカルマシキカ

○問僧尼モ服服ノ忌アリヤ 答

古來沙汰ナル事也僧尼ハ親ニ服

アリ傍親ニ著服セスト云リ又服

ニ於テ僧尼ト云トモ忌ベシト云リ

近代御修法ツト允僧服ノ事アリ

憚之ナリ但法家云近代ノ法也服

服アルベカラズト云云此ガタレトモ近代

ハ僧尼モ服服ヲ憚ル也

○問穢所ヨリ來ル書狀可憚ヤ
答穢所ヨリ來書狀ス封印ヲ門戸
ノ外ニ其使ニトカセテ取入ルハ不
穢此方ノ奏者封ヲストクベカラズ文
管ニ入ル状ヲモ彼使門外ニ取
出シ封ヲトキテ出共不穢ヨリ
奏者出共穢ナリ折紙ヒ子リ文ハ

封メナキニ依穢ズ但文管ニ入タル
ス門外ニ取出サスベシ此方ヨリ穢
所へ遣状ハ封ニテ遣モ苦カラズ又穢
所ヨリ外へアル状ハ封目ナシニ遣テ
詔
○問穢所ヨリ來ル器ハ穢
ヤ答器ヲ取カヨハセハ其家ケガ
ル也
○問鹿食ノ合火ノ事

甲穢鹿食人ト乙穢合火八十五日
穢也合火ノ人又合火八三十日ノ
穢也三轉憚也合火共ス上鹿食人
ト同家共五日ヲ隣テ社祭スヘシ
其故矣（抄）死穢八五日也（抄）樹狐
等ハ六畜ニ獲スル也合火ノ者同
家ハ五日憚ヘシ其者二合火共ス八憚

ナシ但六畜ノ死穢五日ニテ甲
乙ノ二轉ヲ憚ル若相混セハ五日
ヲ隣ヘシ此分執如何（抄）答此分也
神妙（抄）○問羚羊狼鬼狸ノ合
火憚（抄）答（抄）
○問輕服暇中ノ人ハ別火也其別
火ノ人合火如何（抄）答當日ノ憚

也總別合火ハ鹿食ナドトニハ三轉ノ
憚アリ自餘ハ當日バカリ忌之重服
ノ人ニ合火同前但死穢ニ混セバ三
日付輕服人ト衆會ハ神事ニ三日憚
之ヲ ○問大社衆詣神事申中ニ
僧尼ノ往來憚ルヤ 答門外ニテ
衣袈裟ヲスガシテ白衣ニシテ入バ不

智也又伊勢ニテハ各別ナリ
○問神事ノ時家中ノ申ノ食物ヲ誤
テ他所へ持行服者ニ食シムル忌之
ヤ 答服者ノ食タレ以後其火テ
調タレ食ヲクワズ火ヲウチカヘテ調バ
不憚之服者ノ食シテ後其食ヲ食
バ當日ノ憚也 二夜三日シテ神事

又問服者アヘビ合火イハヒ允者モノイハフキ家中イハノウチへ出入忌
ヤ 答穢チニ混マシセス服者イハヒタラヌ其合火
ノ入神事ノ家内イハノウチへ出入イデ不ス苦ク但出
入ノ當日ツクニ云神事ノ所トコロへ忌イハヒベシ
○問七歳未滿ノ乳母并家室又
親類等イハヒ鳥松ノ時庇イハヒヲイテ別火
允事服紀令ニ見タリ神事ノ方カタニ

恐オソ仕シ者モトノ其庇イハヒへ出入イデ懼オソヤ 答不ス苦ク
○問穢チニ混マシセサル輕服イハヒアツテ忌ノ別
火久キウヲ神事ノ時他家イハノウチへ三日前ニ
出イデス其出イデシタル家へ召仕イハヒモノノ出入イデ如
何 答云チシカクカカラザル也
○問穢チニ混マシセサル輕服イハヒアツテ忌ノ別
火ノ入イデ他所イハノウチニ祭會イハヒニ合火イハヒ共イハヒ如

何 答二夜三日露^ノヲ祭社スベシ
重服^ノ同^ノ之^ヲ

○問子ナキ人養^ハ子ヲスル其養子死スルトキ嫡子ニ准^ズテ父母ハ服ヲ受ベシヤ 答養子ノ

服^ハ亦^ハ汰^シテ^ハ傳^ハ不^レ可^ク受^フ云云

○問夫存生^ノ間ニトテ出ス妻^ハ幾^ク夫ノ服^ハ如何^カ 答云服ナシ

○問人ヲ殺害スル其殺手觸穢スルヤ
否^ヤ 答切手^ハハ當^リヨハカリ穢也^{或三}
スエモハ三十日穢也

○問首^ヲ切^ル其刀穢ヤ 答三十

日穢^{切手モ} 三十日 〇問人ヲ殺ス

時其警固^ニ出^ル輩穢ヤ 答云死人
不^レ觸^ハ當日ノ穢也但家中ニレテ殺

其其内へ人ル警固モ三十日ノ穢多
ベレ野外ニシテ殺サ其人ヲイ只子バ
不穢只當日忌 ○問首ヲ切
時繩ヲヒカユル者穢ヤ 答死スルト同
ハヤク繩ヲ八十共不穢也 但ソク繩
ス八十共三十日穢也

○問地鎮ノ祭ヲスル時魚鳥食事

如何 答不吉

○問神書講

釋ノ時聽聞ノ人衆可潔齋ヤ

答其汰ナレ然トモケツカイレテ聞ン

事尤モ然ベレ發起ノ仁尤神事スベシ

講シ手又神事スベシ 穢講ヲナシ

○問神書講ノ時月水ノ女ヲ出ス

事神事ノ時貞ヤ 答カナリ



○問、十月ヲ神無月ト号シテ諸神
 出雲大社へ集々ニハ留守タル能神
 事并參社スベカラガルヨシ世俗申傳
 夕リ然トイヘトモ神書講尺ノ時云
 神無月ト号スルハ咫神伊弉册尊
 ノ崩絶ノ月タル也仍此号アリ大
 社ニ諸集リタニフト云事ハ正説ナレト

云リ然ハ神事參社スベトヤ 答禰
 妙也也參社神事スベシ
 ○問服中ニ除目ノ申文ヲ進事文
 明十二三二十九除目勸修寺大
 納言教秀卿重服中進申文重服
 人或執筆ヲツトメ件官ノ例アリト
 云明應二年馬家証此義如何 答如

此事八局中并ホウサダ法曹ノ輩勤進ヲ以テ本トスル也然レ上ニ其分ヲタルベシ

○問諒闇中ニ神位事 答諒闇

中被テ立諸社祭勅使之上ニ何子細

アルキヤトト兼ニ俱卿書狀アリ見長

五十家ニ証ト十ト○實母養母ニ兩度著

服事延徳三正月十一日ノ家記見タリ

○神事ニハハ勝トトキタル火ヲ可キ又

平生モニ不可カ為ス

○毎日時所作ニ定タ勤行ニ淨ト不

淨ト不レ嫌者也付テ潔事ハ早ニ朝ニ行ク

水ヲ行ク之ヲ ○形中定タル辨行

三前夜ニ姪事ヲ止テ當日早朝行

水ヲスヘシ ○神社御前ニ下馬シ

與スレ但急事ノ時ハ心中ノ禮拜
ヲ以所念アラス乘ウキモ不可苦者
也 ○穢中ニ天神宮以下諸神
へ清淨ノ人ヲ代參サセシムル事更
不苦奉納同前 ○時輪毎朝
御拜ノ事或ハ御椽或ハ庭上ニテ御
所念尊号ノ事今度御心念分尤

可然候直ニ向御申ノ儀不可苦候其
故ハ下界ニ御座候神ハ境地ヲ被定
之故ニ淨穢ノ隔ヲ專ニ御心候天上
ノ神光ハ三千世界ヲ御照候ニ清
淨モ汚穢モ隔ナキ神慮御内證ニヨリ
テ穢ノ時モ直ニ向御申不苦候云云
吉田二品法住寺殿へ御返事如此


○有穢氣之時日所作ノ事觸穢
 三十日之間ハ神名等ノ御日所
 作ヲ被略テ心中ニ信向ノ神名ヲ含
 テ中臣被三種ノ大被御受用何ノ
 子細サウラハシ哉是ヲ心念ト申テ不
 苦

△
 大社 重輕服等守本法也

魚鳥五辛等忌之	今宮 紫野	八幡 日吉	宮寺社 重服人暇後	吉田 住吉	春日 大原野	稲薙	伊勢 賀茂
	御靈 紫野也但	祇園 北野	參詣不苦也	梅宮 餘略	松尾 平野		



諸神參詣之事

前齋^シ後^ニ夜^ノ三日也^ト也^トハ參詣ノ定日^{ナリ}
 ○即前齋^シ日^ニ重^ク服^ス人^ハ月^ノ水^ノ女^等ハ
 家ノ内^ヲ退^ス出^ス也^ト但^{シテ}家室^ハ并^ニ親服^ス
 又七^歳未^ニ滿^ル家^ノ主^ハ乳^ノ人^等棟^ノ別^ノ屋^ニ
 落^ル庇^ト居^ルテ^モ別^ノ火^ヲシ^テ古^ノ來^{ヨリ}寬^ク宥^ム
 法^{ナリ}ナリ^ト  ○前齋^シ之^ノ夕^ニ行^ク水^ニ二^夜

三日之間^ニ所^レ止^ム温^ク事^{ナリ}也^ト當^ル日^ハ朝^ニ行^ク
 水^ノ夜^ノ服^ヲ著^キテ^モ後^ニ御^ノ襖^ヲ以^テ御^ノ夜^ニ躬^ヲ
 體^ヲ拂^ク儀^也

伊勢^ノ參^ル宮^ノ熊^野參^ル詣^等之^ノ事^{ナリ}
 精^進ノ屋^ヘ入^リ日^ヲ前^ニ齋^スノ始^トス^ニ進^ム
 發^スノ日^ハ參^ル詣^ノ當^ル日^ニ准^ズ

伊勢太神官服忌雜穢^ニ並^ニ外

雜儀可儀上

○五等親等服忌ハ上ニ同ジ

○送喪荷棺 續松持 枕杙持

此傍役人等ハ百日忌之ナリ

○送喪ノ供七日憚之甲乙丙ノ

穢ナレ ○籠借百日忌之

○産婦付生子百日忌之

○鹿猪犬牛馬熊鈴羊麋百日憚

之同火二十一日又同火七日又

同火當日但鹿返火ト云者アリ伊

州服忌圖曰此内鹿火本人至九

十八九日之比合火ノ者ハ二十一日

忌ヲウタ本人食用ノ日巳前逆次ヲ

計ヘ三日之内同火同二十一日之忌

ナリ此ヲ返火ト号ス神宮ニ於テ
○犬子産ル所三日
憚アリ

○血氣味去骨ヲ烏犬喰來家七日

○穢家へ入乞食清家へ來ル者憚ナシ

○穢家入テ沓ヲヌガズ座ニツカ子ハ憚

ナシ ○穢家ノ葦板風ニテ吹ヨサレ

憚ナシ但手ニラズ ○穢家ノ木

○實清家ニヲツルヲ取バ憚アリ

○穢人ト同船スル者憚アリ

○死人ヲ入タル船ニ乗者三十日

○穢家潦水雨露清家へナガレ入ル憚

ナシ ○池内ニ穢物アルヲラス

水ヲノミ魚ヲ取食モノ憚アリ

○燒亡家ニ有死人者三十日

○堀地死骨ヲ納ル儀等ホリ出所
 三十日 ○人及乘馬穢物ヲ
 フメバ憚アリ ○死人ノアル橋
 ヲワタル人ハ憚ナレ ○人ノ頸ヲ
 キル者三十日 ○靈天蓋ノ
 灰調合ノ藥ヲノム者當日
 ○燒亡家ノ棟落ヲ見ル六七日

○灸治七日灸スル者三日
 ○灸ニテ膿ツキタル衣類洗サレバ憚アリ
 ○犬胞衣ヲ喰來ル家七日
 ○赤痢七日 ○三十日ノ内
 ノ産婦ノ同火中三日
 ○三十日巳後ノ産婦ノ同火中
 二日 ○女犯男嫁中三日

○荒廢憚ナシ

○著帶始婦

ノ夫憚ナシ

○月水ノ時著屐

○廢衣憚アリ

○嫁娶假服ノ時

著衣穢限終或洗則無憚

○高野參詣七十日

○穢人與瀧人打合八清方憚アリ

宮中制禁物

引 箭 矢仗 念珠 本藪

持經 藪草履

不與火物

餅 粽 餛 麥粉 乾物

志留粉餅 麩餅 鯨油糰

藪藪 燻物

七知條之忌事 禊宜之常談

○參宮ノ人本式ノ如ハ慈火三日
相去テ而後宮内へ入ルベシ

○參道ノ間痰唾ヲハキ及雜談スベ

カラス
○内宮參道ノ間對乞

食戲ヲ子ニ或濼濼聲同座ニテタバコ

ヲムノ族往往有之太以テ不敬也

目備在觸等尚穢アリ況對談同座

多
○内外參宮之日不可帶

皮革之類也但藥籠牛皮ヲヌル上云

トモ憚ノ油汰ナレ
○參宮日宮

川邊或ハ山田郷ニテ髮結ニカミユハト

六宮中へ入事ヲユルサズ

○參宮ノ日栲カキヅメノ衣類カキ并手拭カキ

カタク思ベシ
○參宮ノ鞞カキ兩宮カキ

拜スルガハ前ニ路頭寺堂へ參佛ヲ
拜事神託之旨ニソムケリ崇神者
ハ深可致思

諸社社例雜忌

○石清水參詣人細語橋ヲ渡ガ
ス當日ノ穢也又依行教勸講之
由縁而參詣之日魚鳥葷菜ヲ食

スル事ヲ忌 ○上賀茂參宮人

境内ニゾニ官川畔ニテ藺笠ヲスグベ
レ若精少縣主服者ノ次女ニ見アヤ
ク神事ニ妨アリ一鳥居ヨリ内皮革
ノ類ヲ忌一鳥居ヨリ内歌唱レ雪
踏スハク事深憚之僧尼ハ棚尾社ノ
下ノ石壇ニテ拜スベシ神庭ニ近ベカ

ラス

下賀茂巳上坊制ナシ

○愛宕神社参詣人産穢ヲ詳ニス

令當社ニ於テ忌憚事深淵縁アリ

初産者男子五十五日第二産男子三十日

五女子七十日第六男子二十日也又

云當社参詣ノ日八依慶徳遷座之

理忌魚鳥五辛之類右八當社天文

年中ニ定ル所ノ法也

○北野参詣ノ人南門鳥居外石

塔婆東西ニ家茶店ニ於テ茶ヲ喫

ベカラス除服ノ人必此茶店ニ喫

茶スルヲ闕トス仍常穢火ナリ又未

社巡拜ノ序船ノ宮ノ南ノ石塔

ヲ拜ムベカラス當日ノ憚アリ宮住辨

打ヒ天ノ由ヨヲ稱ナスル事ハ舊傳ニアラズ

二十二社

上伊勢伊勢 石清水山城

賀茂山城 松尾山城 平野山城

稻荷山城 春日大和中大原野山城

大神大和 石上大和 大和

廣瀨大和 龍田大和 住吉攝津

下 比叺近江 梅宮山城 吉田山城

廣田攝津 祇園山城 北野山城

丹生大和 貴布祢山城

神社へ参り神ヲ拜奉ル事ハ神
拜ト云事ヲ習見レ神前ニテ佛ヲ拜
ゴトクニシテハ毛頭神慮ニ呼カ
何ノ比何人カ云出シテ有ケテ神
ノ御正體ハ佛ナリト云答セリ
是大キナル佛許カ體ナキ事也
大方ノ人コレヲ眞ト思ヒ賤チ

神前ニテ珠數ヲスリ念佛中ス人
多ク佛法ハ天竺ノ事神道ハ吾
國ノ道也然ラ吾國ノ神ヲ無
ク興國ノ佛法ヲ神前ニテ行
ハ淺狹キ事也禁秘鈔曰不預
穢惡穢惡總佛事也云云是然
テ知ヘシ神前ニテ佛法ヲ修スル

事ハ重服ノ穢ヨリ猶恐アリ神傳
ノメクニカ有ン哉如此ノ人ヲ近ク
タトヘテ云ンニ吾親ヲステ、他人ノ親
ヲイトクシレニ吾主人ヲステ、他人ノ
主人ヲウヤハハ其主親ハヨロヨクキ
カ黍モ天照太神ノ寶祚今ニ
絶其下於民ニ至マデ皆神ノ御

メクニニテ渡世ヲオケリ是ヲ又ヒツ
チガヘテ人毎ニ少ナリトモ仕合ヲ
スレバ佛ノ加護ト云ヘル人アリ是
又人トハ云カタレ神道ヲ聞ザル故
ナリ心得タル人ニ尋ベシカヘスガヘス
神前ニテ珠數ヲスリ佛名ヲ嘯
事勿體ナキ次第也然上ハ神

拜^ガヲ聞^クテ得^ル心^シテ神^ヲ拜^シ奉^ス神^ニ
願^ヒニ叶^ヒ願^モ成就^シ其^ノ身^ヲ延^シ命^ヲ
長久ナルベシタトヒ神拜ヲ知ズ
トモ佛法ヲ厭^ム敬^ムテ拜^ムズ
カルベシ凡^ソ世人服忌令^ノ禁^ム法^ヲ
ヲ知^ズテ汚^カ穢^クシリツケ諸^ノ社^ニへ
參^リ詣^リセバ彌^チ加^フ護^ルシ至^ルハ^シ故^ニ

今改正増益シテ開板せしめ
者也

元祿七年甲戌五月吉日



小篆六
問

